



すずらん

令和5年11月24日発行 NO. 9

◆教育目標◆

たくましい子
心ゆたかな子
考える子
協力する子
責任をもつ子



12月の帰宅時刻は16:00

6時間授業の下校時は暗くなり始めてきております。学校では、時刻を守り安全に帰宅するよう指導しています。また、朝の気温が冷え込んできています。防寒着、手袋、防寒用の帽子を着用して登校するようお願いいたします。

「見えない学力」を育てる



校長 富田 直子

まずは、今月開催しました「学芸会」には、多くの保護者・地域の方々にご来校いただき、本当にありがとうございました。「三密」を避けるコロナ禍の学芸会とは異なり、体育館に子どもたちの声が響き渡る学芸会。ステージ上の子どもたちは本当に「いい顔」で発表していました。保護者の皆様には、準備も含め、様々お力添えをいただき感謝申し上げます。

さて、秋は、芸術の秋と同時に、読書の秋、勉強の秋とも言われます。中学校教員からスタートした私にとって、秋は進路選択の大切な時期という思いが強くなります。担任をしていた子どもたちに「学力を上げるのは簡単ではない。今頑張った結果は1年後に表れるんだよ!」と根拠のないハッパをかけて勉強させていたのを思い出します。この「学力」とはいわゆる「点数」ですが、この「見える学力」ばかりを高めようとしても成績など上がらない…そう実感したのはそれからずっと後になってからです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世の中は大きく変わりました。そんなコロナ禍を経験すると、これから10年後がどうなっているかは本当に予想が付きません。でも子どもたちはそんな VUCA(ブーカ「Volatility:変動性」「Uncertainty:不確実性」「Complexity:複雑性」「Ambiguity:曖昧性」の4つの単語の頭文字をとった造語)な時代を生き抜いて行かなければならないのです。そう思った時、子どもたちは「点数」では測れない「見えない学力」を身に付けていく必要があると改めて感じています。

「見えない学力」とは、例えば「人を大切にできる力」とか「チャレンジする力」とか「子どもたちが社会に出て通用する力」と考えます。つまり「生き抜く力」です。

私は、「見えない学力」の大切さに気づいてから担任として心がけてきたことがあります。それは、子どもたちに「先生、どうしたらいいですか?」と言われた時、自分の考えを押しつけずに、「あなたはどうしたらよいと思う?」と問い返すことです。

なかなか言葉が出てこない子どもいますが、待つと考えは出てくるもので、「じゃあ、そうやってみようか」と背中を押します。時には失敗もしますが、トライ&エラーを繰り返しかみ取ったものは大きな自信となります。「見えない学力」は「見える学力」に確実につながっています。

人生の主人公は「自分」です。子どもたちには自分の選んだ幸せをつかみ取るためにしっかりと自分の意思で生き抜いてほしいと願っています。



釧路市標準学力検査について

釧路市では、当該学年の学習内容が確実に定着することを目的として、小学校3年生以上中学校2年生までを対象に「釧路市標準学力検査」(CRT)を実施しています。これは、国語科、算数科において概ね4月から11月までに学習した内容が出題され、今年度は12月8日(金)に全市一斉に実施します。

本校では、市として実施する3年生以上に加え、1・2年生も例年実施しています。結果は1月下旬ころを目途に個人にお知らせいたします。この結果を受け、本校教職員は、自身の指導方法を振り返り、更に工夫改善を図りながら、一人一人の子供に、確かな学力(生きる力)を身に付けさせることとしております。

現在、復習の時間なども保障しながら学習を進めております。ご家庭でも、家庭学習の励行をお願いいたします。詳細については、先日ご案内したお知らせをご覧ください。

時間講師の先生が着任しました

11月から、3名の時間講師の先生方が着任されました。

【着任された先生方】小野三枝子先生、大久保愉子先生、伊藤新一先生
小野先生は11月いっぱい、大久保先生・伊藤先生は12月中旬までの短い期間ですが、主に2年生、6年生等で強力なサポートをいただけることになり感謝しているところです。よろしくをお願いいたします。

12月参観日・懇談会のご案内

2学期最後の参観日です。全学年「メディアと健康」をテーマとした授業を行いますので、子供たちが真剣に学習する姿を見に来てあげてください。授業終了後には懇談会もあります。担任は保護者の皆様にお話したい内容を考え、準備しております。是非ご参会いただきますようお願いいたします。

12月12日(火) 高学年 12月13日(水) 低学年

12月14日(木) 中学年

※特別支援学級については学級からのお便りで確認をお願いいたします。



12月(師走)の行事

日	曜	行 事	読み聞かせ	推進G	まなびや
1	金	フッ化物洗口 メディアコントロール週間		★	
2	土				
3	日				
4	月	まなびや特訓2・5年生		★	◎
5	火	学校教育指導(研修) 小中ジョイント 特別時程		★	
6	水	校内絵画作品展搬入 読み聞かせ周年祭	◎	★	○
7	木	児童委員会 選管 校内絵画作品展 図書館バス		★	
8	金	釧路市標準学力検査(全学年検査)		★	
9	土				
10	日				
11	月	朝会(表彰) 冬休み図書貸出 まなびや		○	○
12	火	授業参観・懇談会(高学年)		○	
13	水	授業参観・懇談会(低学年) コミスク協議会(小中)小会場	○	○	
14	木	授業参観・懇談会(中学年) 校長会議		○	
15	金	フッ化物洗口		○	○
16	土				
17	日				
18	月	人権教室(5年生) まなびや			○
19	火	指導部会 教頭会議			
20	水	英検 ESG(6年生) AED 講習 5・6年生	◎		○
21	木	研修 ALT 図書館バス			
22	金	特別時程			
23	土				
24	日				
25	月	2学期終業式 特別時程 午前授業(給食あり) 教材点検		★	
26	火	冬休み学習会①			
27	水	冬休み学習会②			
28	木				
29	金	学校閉庁日			
30	土	学校閉庁日			
31	日	大晦日 学校閉庁日			

今月はこれを頑張ろう! (「釧路っ子共に育てる10カ条」より)

「時間を決めて しっかり勉強」毎日取り組むことで習慣化。親子で一緒に考えて自分の学習スタイルを作りましょう。

学芸会

学芸会スローガン

協力して、練習の成果を発揮し、思い出に残る学芸会

11月18日(土)(市内一斉土曜活動日)に、今年度の学芸会を行いました。長く続いたコロナ禍も一応の終わりを迎え、今年度は様々な制限のない学芸会を無事に開催することができました。子供たちはこの日のために一生懸命練習を積み重ねてきましたので、たくさんの保護者、ご家族の皆様はその成果を披露することができ、みんな「いいかお」で帰って行きました。残念ながら体調不良などの理由で参加できなかった子もおりますが、ご観覧いただきました皆様、誠にありがとうございました。



1年生：歌・ダンス・器楽
「いいかおコンテスト」
初めての学芸会、元気いっぱい笑顔いっぱい頑張ってくれました。



2年生：音読・歌・器楽
音読劇「お手紙」
素晴らしい音読、歌、演奏、構成…圧巻でした。感動しましたね。



3年生：歌・ダンス・器楽
「音楽で世界旅行～器楽『ブラジル』他」
「ブラジル」は難しく、子供たちは苦勞しながらも一生懸命練習し見事やり遂げました。



4年生：歌・表現・器楽
「音楽日本旅『ジッパディードウダー』他」
鳥取かさ踊りも披露するなど、4年生は自分たちの得意なことを生かしていましたね。



5年生：歌・器楽・表現
「スーパーオタマリオワールド～笑顔と感謝を会場へ～」
5年生は会場のみんを笑顔にするため、工夫を凝らしました。



6年生：歌・器楽
「器楽『ルパン三世』、歌『つばさをください』他」
6年生は最後の学芸会を素晴らしい演奏と歌声で締めくくってくれました。

大楽毛小学校区健全育成協議会主催

「フロアカーリング大会」があります！

11月25日(土)は、健全育成協議会主催の「フロアカーリング大会」です。今年度は、17名の児童のみなさんが参加申込みをしてくれています。保護者や地域の方も参加して下さる予定です。大人も子供も関係なく、みんなで軽スポーツを楽しみ、親睦を深め、地域の温かい輪を広げたいと思っています。見に来ていただくだけでも構いません。お時間がある方は9時15分開始ですでお集まりください。

2回目の学校評価を実施します

教育活動の傾向を精緻に把握し、課題意識を全教職員が共有することによって、その解決に向けて改善を試みることを目的に、今年度2回目の「学校評価アンケート」(保護者・児童)を12月に実施します。前回同様、Googleフォームで実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。実施の際に改めてご連絡いたします。いただいたご意見をもとに具体的方策をもって改善していきますので、よろしくお願いいたします。

義務教育学校開校に向けて～校名決定～

10月25日、第3回大楽毛地区義務教育学校設置準備協議会が開催されました。以下の内容が決まりましたのでお知らせいたします。

1 校名について

子供たち・地区・保護者・卒業生からの公募により集まった名前の中から、どの名前がふさわしいか2回にわたって話し合いが行われました。結果として、「釧路市立大楽毛学園」に決まりました。

決定の理由としてあげられていたのは…

- ① 地域の方々の「大楽毛」という地名への思いが強いので残すべき。
- ② 「小中学校」というよりも、「1つの新しい学校」というイメージであれば、「義務教育学校」とつけるか「学園」とつけるかの2択。
- ③ 「義務教育学校」という名称が長い。
- ④ 全国的には「学園」が多い。

2 校歌について

校歌については、新たに作るという考えもありましたが、(現)「大楽毛小学校校歌」が、「大楽毛学園」の校歌となることが決まりました。

地域の方、大楽毛地区に育った方々には思い入れがあり、「愛着がある」との声もあり、「小学校」という歌詞が入っていないことや作詞が著名な方である(作詞更科源蔵・作曲筒井秀武)ことから決まりました。

3 校章について

こちらは次回に持ち越し、決定に至りませんでした。

